

外国人に聞きました! 札幌ってどんな街?

このページでは、仕事や観光などで札幌にやって来た外国の方にインタビュー!外国人が感じている札幌の魅力を紹介します。

第2回 キルギス共和国出身の留学生

都会でありながら街の雰囲気や人々が穏やかですね



私の出身はここ!

キルギス共和国 【ビシュケク市】



面積/約19万8,500km²(日本の約半分)
人口/約600万人
首都/ビシュケク
言語/キルギス語、ロシア語
主要産業/農業・畜産業、鉱業



気候は札幌と似ていますが、冬はマイナス20度くらいまで冷え込みます

北海道大学博士後期課程2年
ベクトウルスノフ ミルランさん

ロシアや中央アジア周辺などの歴史・政治経済といった分野を研究するスラブ社会文化論を学ぶため、4年前に札幌にきました。



ビシュケクと札幌の共通点は?

「都心の近くに自然があふれる場所があるところです。」

ビシュケクのお気に入り/ アラ・アルチャ自然公園

「ビシュケクから約30kmのところにあります。人の手が届いていない自然が残っており、特に渓谷の雄大な景色が好きですね。」



▲ミルランさんが撮影したアラ・アルチャ渓谷

札幌のお気に入り/「自然豊かな公園が都会の中心地に 中島公園 にあるのは珍しいと思いますよ。」



▲2歳になった娘のエリカちゃんとのツーショット。毎週のように家族で散歩したり、ボートに乗ったりするそう。

キルギスは、家畜を育てながら暮らす遊牧文化が根付いていて、肉料理が中心です。海産物を生で食べることがありません。

私の出身地、キルギスは中央アジアに位置する、遊牧民の伝統とイスラムの文化が融合した国です。あまりなじみがない国かもしれませんが、冬には雪が積もったりと、札幌と共通しているところがあるんですよ。

札幌に住んでみて感じたのは、コンパクトで便利な街だということ。故郷のビシュケクでは、食料や日用雑貨が売られているバザールやお店が市内各地に点在しているの、いろいろな場所に行っても、買い物をしますが、札幌駅周辺は建物や公共施設がまとまっていて、用事を一度に済ませられますよ。

そのため、当初はそうした和食が苦手でした。でも、札幌で食べられる魚はどれも新鮮でおいしく、今ではすっかり寿司が好物になりましたよ。

札幌は街の雰囲気が穏やかだと感じています。それは、札幌の人の歩く速さが少しゆっくりしていたり、人を急かさずからだと思えます。それに、外国人だからといって特別扱いせず、分け隔てなく優しい人が多い。都会でありながら、どこかのんびりと安心した時間を過ごせるのも、この街の魅力ではないでしょうか。

見に行こう! /

「SAPPOROこども特派員」発表会

市内の小学6年生が、札幌に住む外国人へのインタビューを通して考えた、国や文化を越えてみんなに優しい街にするためのアイデアを発表します。

日時 1/12(土)18時~19時30分

会場 市民交流プラザ(中央区北1西1創世スクエア内)

費用 無料

申込 当日直接会場へ

詳細 国際プラザ

☎211-8232



発表イメージ